

授業科目名 <英訳>	基礎現代文化学（講読Ⅳ） Basic course of Modern Culture & History(Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 伊藤 順二					
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	火3	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目	露書講読 1										
【授業の概要・目的】											
19世紀前半を扱った史料集の講読を通じて、ロシア語の一般的読解力を向上させるとともに、公文書・公的書簡・私的書簡・回想録などのさまざまな文体に触れさせ、19世紀的な文体に習熟させる。											
【到達目標】											
19世紀のロシア語の文章を、辞書等を参照しつつ自力で読解できる。											
【授業計画と内容】											
以下の史料集をテキストとする予定である。東アジアと関係の深い露米会社の行跡をたどることでロシア語の文章を身近に感じられるようにしたい。											
<p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p>(XVIII- XIX), 1994, (『ロシア・アメリカ会社と太平洋北部の調査：資料集 (18世紀から19世紀前半のロシア人による太平洋探検)』)</p>											
ただし、受講者の希望によってテキストを変更する可能性もある。 受講人数にもよるが、毎回1頁程度、一人あたり数行～十数行ずつの割当てで進行する。											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
期末テストはおこなわない。出席と予習の精度による。											
【教科書】											
プリントを配布する。											
【参考書等】											
(参考書) 露和辞典は研究社出版のものを所持していることが望ましい。											
【授業外学習(予習・復習)等】											
予習として自分でテキストを訳しておくことが必須となる。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーは、火曜4限とする。											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											